			度	<u>事務</u>	事業評价	洒シート(2	9年度第	実績	<u>*</u>					1	8
	基本情 事務事		呂		鳴門馬	R周辺整備 =	事業		担当部署		企画総	8務部 1	戦略企	:画調	<u> </u>
総	合計画	■体系	Ŕ						根拠流	去 令	 なし				
基本政策(大項目)			項目)	3 L	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり					32	なし				
		中項	(目)	2 性	R適に暮らせるまち なると 開 With Title Part								27 年度		
		(小項目) 市			市街地				事業	始	平成 ▼				27 千茂
		拖策		2 %	5気に満っ	5気に満ちた市街地の形成			期間	終	~.亚比	30年度			•
	基本	本事:	業	1 ਜੋ	5街地の	整備				期	・マール	30平皮			
0	事業相	要(PLA	N)											
Γ.	- 4110				☑ 個人 □ 世帯 □ 団体 □ その他 □ 内部管理										
		誰(何)を対象に しているか			鳴門駅及び周辺施設利用者										
	事業 対象をどのような状態 にしたい(目指す)のか			本市の公共交通の発着点である鳴門駅周辺の一体的な整備を行い、駅周辺の交通 環境及び利便性の向上を図るとともに、魅力的な景観づくりを進める。											
事業 29年度に何を 計画 計画していたか			西側歩道う。	ف整備工事等 。	を実施する	5 <u>5</u> 5	もに、次年	度口−	-タリー:	エ事に「	句けて	設計	を行		
											度 30年	度 31年	度 32:	年度	単位
成果 目標		事業目標の達成度合		鳴門駅周辺整備進捗状況			西側自歩道 完成 ロータリー 実施計画 策定		ב						
0	実施新	:果(DO)												
事業 実施 内容 JR四国と協定締結後、歩う を施工した。また、平成28年 を施工した。また、平成28年 た。						歩道橋を擶 8年度に策	対表す 定した	るとともに、 た実施設計1	駅西側に基づき	駐輪場(き、駅前	の残工事 ロータリ-	事、東側 一改修.	駐輪 工事(:	場工事 こ着手し	
	事	業実施手法			市実	施 🗸 一	部委託	✓ 3	委託		助金	- 7	その他		
				指	標名		28年度	実績	29年度実績	30年度	目標 314	年度目標	32年度	目標	単位
	動指標														
の :	施した事業 活動量を示														
す指標 成果指標 対象にどのような効果が あったか示す		鳴鳴	門駅	周辺整	西側自歩道 完成 ロータリー実施 計画策定		一部竣工	ı		-	ı	-			
指					達成率(実績/目標)			/	88%	_				-	%
	今年月	₹の:	進捗	状況	la	ぼ計画どお	IJ	事	業全体の	進捗も	犬況	Ī	計画と	゚゚おり)
Ξ					1 1							<i>t</i> = =			(千円)
		-	年 度	年 度	区分	国	県			その他は	持定財源 -	一般則			養計
					当初予算額	44,000		0	36,000		0		0,045		100,045
		内訳 平成			補正予算額	△ 16,021		0	△ 13,200		0		9,216	_Δ	10,005
					繰越予算額	40,000		0	40,000		0	•	4,000		84,000
ļ	財源内			29年度	全体予算額	67,979		0	62,800		0		3,261		174,040
				十八七3十段	決算額	59,870		0	54,300		0	18	3,328	1	132,498
					繰越額	0		0	0		0	-	3,292		8,292

正規職員(7,234千円/人) 臨時職員(2,492千円/人)

0.0

1.0

人件費

総人件費

7,234

総事業費

139,732

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:鳴門駅周辺整備事業】

	年	度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業	美費	44,567	132,498	8,292		
事業費推移	うち・	一般財源	10,527	18,328	8,292		
	人件費		7,133	7,234	3,617		
	総事	業費	51,700	139,732	11,909		

◎項目別評価(CHECK)

評価		評価	値	所見欄			
①活動に対	有効性	A:有効性/	があった	駅利用者の利便性向上とイメージアップを図ることができた。			
する評価	効率性	A:効率的	だった	国の補正予算で計上された有利な財源を活用できた。			
	指標名	鳴門駅周辺整	備進捗状況				
②成果に対	目標	竣工	100%	事業の一部を繰り越したものの、予定していた部分			
する評価	実績	一部竣工	88%	の大半は竣工した。			
	評価	B:概ね目標を達成できた					
③総合的	りな評価	Α		事業の一部を繰り越した以外は予定通り実施でき た。			

◎今後の方向性(ACTION)										
課題	概ね	概ね工事は完了したが、完成した施設を効率的、効果的に運営していく必要がある。								
今後の方	向性 1.廃止		1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3			
↓今後の	↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。									
実施内容	H30	0年度	繰越事業を発	完了させ、施設を供用	開始する。					
大心内谷	H3 ⁻	1年度								